

b P S 演習③7 評価基準をつくろう I

発表の評価のポイント（全クラス共通）は以下に示すとおりです。

ア	着眼点・着想力・課題設定力	テーマが適切に設定されている。
イ	論理的	テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性がある。主張と根拠が明確である。
ウ	研究のプロセス	努力や苦労した点、新たな発見のあとが見られる部分がある。
エ	プレゼンカ	話し方、パウポの提示の仕方、質疑応答

このポイントを踏まえて各グループで評価基準を作り上げましょう。各グループで作成した評価基準をまとめ、クラス代表を決定するクラス発表会におけるクラス独自の評価基準表を、SSH 委員が作成します。

☆評価基準（例）

ア	3	… 独創的な発想や考え方、テーマ設定に非常に興味・関心がもてる。
	2	… 発想や考え方、テーマ設定に工夫があり、興味・関心がもてる。
	1	… 発想や考え方、テーマ設定に全く工夫が感じられず興味・関心が持てない。
イ	3	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性がある。また仮説や方法も適切になされており、考察にも納得できる。
	2	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性はあるが仮説や方法にまだ不十分な点が見られる。
	1	… テーマ→仮説→方法（実験）→結果→考察といった一貫性が見られない。
ウ	2	… 調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られる。また新たな発見の跡などが見られる。
	1	… 調査方法（実験）において、独自の工夫または修正や改善の跡が見られる。
	0	… 調査方法（実験）において、工夫や修正や改善の跡が見られない。
エ	2	… パワーポイントは課題研究をわかりやすくつたえるための役割を果たしており、質疑応答も含め、話し方は十分聴衆をひきつけられていた。
	1	… パワーポイント、話し方、の不十分な点があり、研究内容が伝わらない点があった。
	0	… 研究内容が伝わるようなプレゼンテーションではなかった。

あくまで例です。これまでの練習で出てきた良いところを評価するために、もっと増やしてもかまいません。上記例ではア～エの各ポイントにつき1つの基準ですが、例えばウのポイントを3つの基準に分けてもかまいません。

b P S 演習③⑦ 振り返り

演習③⑦ルーブリック

学習活動	グループ発表、ペア練習で出てきた新たな評価基準についてまとめ、例を参考にしながら独自の評価基準をつくる。
期待以上 (S)	例の評価基準を見直し、独自の評価基準を作ることができ、グループで積極的に発言をすることで作成に貢献することができた。
十分満足 (A)	例の評価基準を見直し、独自の評価基準をつくることができた。
おおむね満足 (B)	例の評価基準に新たな基準を加えることができた。
努力を要する (C)	例と同じ評価基準しかできない。

**振り返りと自己評価は Web で入力するため
テキストに記載欄はありません。**